

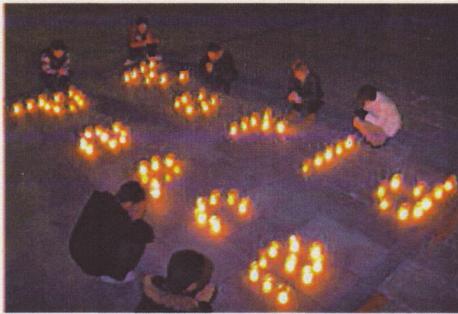
「戦争を止めよう」 ヒロシマで抗議行動続く

■平和記念公園ではキャンドルで訴え

イラク開戦から一夜明けた二十一日、被爆地広島で市民たちの抗議行動が続いた。広島県原水協や市民団体などの呼び掛けで三つのデモがあり、「一刻も早く戦争を止めたい」と飛び入りの若者や買い物客らが目立った。広島市中区の平和記念公園では、キャンドルの火で「world peace(世界平和)」の文字が浮かび上がった。



西区の保育士河上宏子さん(34)はデモ初参加という。「保育園でいつも子どもたちに『たたいてはだめ、お口で言いましょ』と教えています。大人も言葉で平和的に解決しないといけない。イラクの子どもたちが傷つくのはいや」



別のデモには東区の会社員土山ゆかりさん(36)が六歳の長女と加わった。「戦争が始まって何もするのは恥ずかしいと思った。このままでは力のある国が勝手なことをする世の中になってしまう」。やはり、デモは初めてという。

白づくめの衣装と長い耳で参加したのは、佐伯区の医師羽熊直行さん(58)。「平和的な動物の象徴」というウサギの装いだ。午前中から、平和記念公園や市中心部を一人で走って反戦をアピールしたという。「地球は人間だけのものではない。戦争はすべての生物を破壊する。人間よ、おごるなと言いたい」

平和記念公園でキャンドル文字をともしたのは、市民団体ワールド・ピース・ヒロシマのメンバーたち約十人。八十三個のろうそくが二十日夜からひと晩中、平和を祈って輝いた。前島修代表(29)は「罪のない人を死に追いやることを、同じ人間としてどう思うのか 問いたい」と訴えた。

【写真説明】ろうそくの火を前に平和を願う若者たち(写真左)

【写真説明】「一刻も早く戦争を止めよう」と訴えて歩く市民たち

2. 21業者が入札失格 最低制限割る／福山
3. 緑井駅前再開発 広場と高層住宅棟完成
4. 反原発「集いの場」が完成／山口県上関町
5. 幹部候補生が船出 江田島の海自学校卒業式
6. ロマン乗せ「貴婦人」出発進行／山口
7. クールベ展開幕 ひろしま美術館
8. 鞆の浦紀行観光バス出発／福山
9. 市街地循環「ひまわりバス」出発式／庄原
10. 砂の彫刻教室に親子連れ／広島県瀬戸田